



## 災害時のペット同行避難に備えて 「愛犬のしつけ教室」を開催

と き 11月23日(祝・土) 午後2時～4時

ところ 都立光が丘公園 芝生広場(光が丘4-1-1)

23日に、都立光が丘公園において、「犬のしつけ教室～災害に備えて～」を開催した。練馬区では初めての開催となる。

本年8月に環境省が、災害時におけるペットの救護対策ガイドラインを作成し、ペットの同行避難を明記した。

災害が発生し自宅にいることが危険な場合、区ではペットと共に避難拠点(区立小中学校)に避難する「同行避難」をお願いしている。避難拠点では多くの人が生活することになり、動物が苦手な人もたくさんいる。また、普段と違う環境でペットも精神的に不安定になりやすい。このため、日頃からペットにしっかりしつけをしておくことが重要である。そこで、練馬区で初めて、同行避難を念頭に置いたペットのしつけ方教室を行うこととなった。

30名の定員は申し込みから3日でいっぱいとなり、関心の高さを表した。ドッグトレーナーの説明のもと、指示に従ってケージの中に入ることや、飼い主にぴったり寄り添って歩行することなど、狭い避難所で過ごすためのしつけを愛犬と一緒に体験した。また、災害に備えて意識することを説明すると、参加者は熱心に聞き入っていた。会場では、東日本大震災でのペットの状況について、パネル展示も行った。

3歳のペットと参加した方は「災害の時に一緒に避難するので、どういしつけが必要か学びたかった」と参加した理由を話した。

区では、本日の開催結果を踏まえ、今後の開催や防災訓練との連携などを検討していく。



「ハウス」のしつけ



「待て」のしつけ

### 【今後の練馬区の取り組み】

区では災害時におけるペット動物対策について、練馬区獣医師会員等を構成員とする「練馬区ペット防災検討会議」において検討し、25年3月に「練馬区災害時ペット対策に関する基本的な考え方」を作成した。これに基づき、災害時のペット対策について一層の関心を持ってもらうため、避難拠点の役員を対象とした研修会を12月に行う。また、各避難拠点を回り、震災の実態も踏まえ、あらかじめペット対策を考えておくことの重要性を説明していく予定である。